

新春に贈る金光教文化「吉備楽」の世界



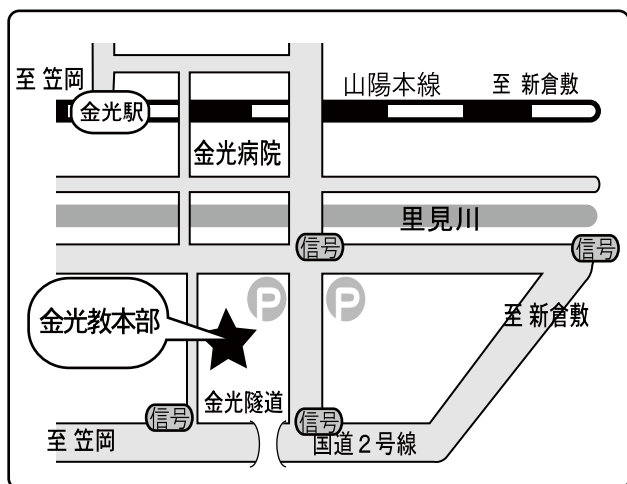
明治の始め。雅楽、能楽、浄瑠璃、尺八音楽、歌舞伎音楽等、それまで隆盛を誇っていた邦楽は、江戸幕府崩壊とともに、幕府や大名たちから得ていたさまざまな特権をなくし、お抱えの楽人たちはその職を失いました。

その一方で、保護の代償として課せられたさまざまな身分の細分化や音楽的制約も同時に解き放たれ、邦楽間の融合や新たな創造へと向かう動きがおこり、次々に新たな芸能が生まれることになったのです。

その一つとして生まれたのが、このたび演奏する「吉備楽」です。創始者は元備前岡山藩の楽人で岸本芳秀といます。

現在では「黒住教」「金光教」両教団の中で伝承され、創始以来130年に渡り受け継がれてきた「吉備楽」は、明るくのびやかな音楽。たおやかな歌声と舞に「明治」という新たな時代が良きものであるようにとの祈りが込められているようです。

この演奏会では、今では遠く隔たった「明治」を思い描きつつ、こんにちを生きる私たちの未来が幸多きものであることを願い、吉備楽の古称「吉備遊び」として開催いたします。



山陽自動車道 鴨方ICから車で10分

なお、正月3日が日、金光教本部周辺は交通規制が行われていますのでご注意ください。

お問い合わせ先

浅口市金光町大谷320

金光教本部

TEL:(0865)42-3111(代表)

金光教の中で伝承し育まれてきた「吉備楽」の数々を、ぜひこの機会にご鑑賞ください。

室内での鑑賞席も設けておりますので、お気軽にお入りください。



演奏曲一覧 (予定・順不動)

霊地の光、お道よ永久に、神の恵

衣更、長良の山、花の吹雪、初時雨

四季の気色 秋、四季の眺、桜の誉

年の始 (予定 順不同)